

# 護衛艦「ちとせ」の現状

二海佐 平 間 洋 一

一歩外に出ずれば、ミデイ・マキシム・ミゾレにパンタロンと  
男女の識別も困難な人種が右往左往する花の六本木を後にして、  
本年六月、電話番号市外局番五桁の日本のアラスカ、大湊に着任  
した。

空気がうまいし、ホタテ貝は最高、しかし、バー少なく、女性  
も最低、「H(エッチでなくエツシ)な人ね。」ではムードも出  
ない。

さて、六本木刑務所(海上ではこう呼ぶが陸空は中央勤務とい  
うらしい)の出所あいさつに陸幕の鈴木(秀)を訪れたところ、

「お前が艦長になると言っても誰も信用しない。水船ではない  
のか、大砲なんか持ってないのではないか。とにかく写真を持  
って来い。」

あわてて、海幕広報班に出頭、写真をどうにか入手し鈴木を従  
がえて陸幕内のあいさつ。

「このたび護衛艦「ちとせ」の艦長を拜命し……。」と言うと、  
続いて鈴木が「この船でご座居まして、排水量一四五〇トン三イ

艦長の泣きどころは、何んと言っても入港時の横付け、のどは  
カラカラ、足はガタガタ、50メートルも岸壁から離し、曳船がノ  
ロノロと押して横付、サンドレッド員もあきらめの態。

戦艦「ちとせ」の隘口も生れかけたが、隣りに高山(一期)が  
「おおい」艦長として着任、幾分、小生の方も目立たなくなった。

そしてエンジンは前進・停止・後進・前進を繰返えし吉田機関  
長(九期)から「お蔭様で良い機関発停訓練ができました」と常  
に感謝されている。

ところで、本艦の防大出身者を紹介すると、

- 艦長(一期) 平間 洋一
- 副長(八期) 宮田 洋二郎
- 機関長(九期) 吉田 洋司
- 航海長(十一期) 山下 公正
- 補給長(十三期) 川島 宗雄
- 砲術長(十四期) 重水 義也
- 水雷士(十六期) 三村 慎一

の以上7名。一歩士官室に入れば、艦長にさせてもらって栄達を  
極めたと感激している艦長を先頭に、宮田副長司会で、防大の学  
生集合のごとく議論百出、活発な討議が行われている割には理想  
と現実がかみ合わずズメの学校の態。

艦長の分身、山下航海長(十一期)は、海幕の人事課も考えた  
もんで、5駆隊、おおい、本艦航海長を歴任した大ベテラン、腹  
が出てズボンが下がり、プロポーションに問題があるのを除けば

ンチ連装砲、それにアスロックもある最新鋭艦で、小西(岑)の練  
習艦とは異なり、連合艦隊所属であります。」とオバーに説明す  
ると、陸の同期は一瞬、感嘆(?)仰天の態。

しばらくして言葉あり、「お前、本当に大丈夫か、海幕も人が  
いないなあ」と。

いずれにしても、二年半におよぶ六本木刑務所の刑期を満了  
し、勇躍着任したものの大湊はどしゃ降りの雨。

着任前に護衛艦隊司令官から「お前は、あわてると英語で号令  
を掛けるそうだが、日本語を使えよ」との注意もあったが、戦後  
派艦長らしく、新しく行こうと指導方針は「任務第一」「精強」  
等の漢字を敬遠、イスラエル、米海軍から一部を借用して

「Follow me (我に随わ)」「  
「Chiose is one Family (喰んな家だ)」

とモダンにしたが、「時刻整合(スッコセイゴウ)を行う七時十  
五分前(スズ・ズウゴフンマへ)の連中に判るかどうか。

総て問題なし。

川島補給長(十三期)は、一期違えば犬猫同然と先輩から「メ  
シが固い」の、「おかずが大湊農協風だ」と食事のたびに言われ  
ているが「うまいですがね」と一向に動することなし、御立派。

しかし、六本木で29円のパンと26円の牛乳で露命を継いできた  
艦長殿にはうまいらしく何も言わずに大口開けて食べている。

二回しか実弾射撃をしたこともないのに、大きな声で5回も射  
撃指揮官胸算をした重水砲術長(十四期)の説明は一見大ベテラ  
ン風、弾も当るし群司令も感服の態。

彼はまた、警衛士官として十手片手に艦内の風紀取締りを16期  
の甲板士官三村慎一君とのコンビもあざやかにやっている。

しかし、甲板士官殿、回りの同期が結婚して行くためか、この  
ごろ「結婚したい」などと発言し、これまた口の悪い宮田副長か  
ら「鏡を見てから言え」などといじめられている。

それでも、本艦唯一の独身幹部として職務は多く、もっぱら所  
在不明隊員の捜索に東奔西走、知能指数1の隊員相手に親身の世  
話をしている姿には頭が下がる。

以上が、護衛艦ちとせ、平間学校、いや宮田学校という者多し  
の近況であります。

乞う御期待、護衛艦「ちとせ」に!!

(一期 ちとせ艦長)